

2016年10月24日

T365 利用者各位

総合情報センター
情報システム課

【注意喚起】 標的型攻撃と思われるメール受信への対応について

新聞、ニュース等で報じられているとおり、企業や大学など特定の対象を狙って、組織の重要情報を窃取する標的型攻撃メールが近年増えており、それによる被害も多発しています。本学の T365 でも標的型攻撃メールの受信が確認されています。現時点では深刻な被害報告はありませんが、利用者の皆様にはより一層の注意をしていただきたく、お知らせいたします。

標的型攻撃メールの特徴（添付資料 1）と、実際に T365 に届いた標的型攻撃と思われるメール例（添付資料 2）を提示します。提示した特徴や例に該当しないメールが届く場合もありますが、少しでも怪しいと思ったメールに対しては以下の対応を取るようお願いいたします。

■ 標的型攻撃と思われるメールを受信した場合の対応

- (1) 送り主に覚えがない、件名が不自然なメールは開封しない
- (2) 受信したメールには返信しない
- (3) 添付ファイルは開かない
- (4) 本文に記載されている URL はクリックしない（アクセスしない）

また、T365 には標的型攻撃メールを含む内容の怪しいメールを自動的に判定し、『迷惑メール』フォルダに振り分ける機能がありますが、この機能を有効にしていた場合でも『受信トレイ』等に標的型攻撃と思われるメールが届いてしまうことがあります。その場合も同様の対応を取るようお願いいたします。

問い合わせ先 総合情報センター情報システム課（720-2231）

以上